

地域防災についてのアンケート



災害対策委員の皆様へ

日頃は、本市の防災行政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

激甚化・頻発化している豪雨や発生確率の高まっている南海トラフ地震などに備え、本市では、今年度「発生確率は低いものの想定し得る最大規模」の浸水や地震・津波のハザードマップを作成しました。今後、今まで経験したことのない災害に備えて、よりきめ細かく地域ごとの防災活動を推進していくため、災害対策委員の皆様が認識されている学区又は町内ごとの防災に関する現況や課題、あるいはニーズをお聞かせください。

お答えいただいた内容は、学区ごとに集計して提供させていただくとともに「地区防災カルテ」へ反映させていただきます。また、今後の防災活動に反映させるための材料とするため、区役所・消防署と共有させていただきます。

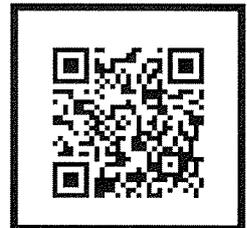
ご協力くださいますよう、よろしく願いいたします。

回答方法

インターネットまたは同封の回答用紙によりご回答ください。

インターネットの場合

- ① 右記の二次元コード又は下記の URL から回答サイトへアクセス
<https://forms.gle/Btp5SdiMVGdpp76F8>
- ② 回答サイトに従い、回答を入力



回答用紙の場合

- ① 設問内容について、必要事項及び該当する□へチェックを記入
(回答例)
問8 災害が起きた時や今にも起きそうなときに、隣近所で安否を確認したり災害情報を伝達したりする方法について、地域で検討しルールを決めているか教えてください。
 ルールを決めている 検討しているがルールは決めていない
 検討していない
- ② 回答用紙を同封の返信用封筒に入れポストへ投函

回答期限

12月23日(金)までに
回答またはポストへ投函

名古屋市防災危機管理局
地域防災室：服部、丹羽
(お問い合わせ)：052-972-3591

アンケート回答用紙

1. ご自身のことについて

問1 お住まいの行政区、学区、町内会・自治会を教えてください。

中 区 栄 学区 南鍛冶屋町 町内会・自治会

問2 加入している自主防災組織を教えてください。

栄中防災会

問3 今後の防災活動の参考にするため、ご自身が使用している情報通信機器や SNS などを教えてください。 **複数選択可**

- | | |
|---|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> パソコン | <input checked="" type="checkbox"/> スマートフォン・タブレット |
| <input checked="" type="checkbox"/> LINE | <input type="checkbox"/> Twitter |
| <input type="checkbox"/> Facebook | <input type="checkbox"/> Instagram |
| <input checked="" type="checkbox"/> YouTube | <input checked="" type="checkbox"/> オンライン会議のツール (Zoom など) |
| <input type="checkbox"/> 利用していない | |

問4 災害対策委員としての委嘱期間を教えてください。

昭和・平成・令和 年 月～

災害対策委員の他に、兼務されている役職があるか教えてください。

区政協力委員、災害救助地区本部委員は除いて回答してください。

- | | | |
|---|--|-------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 町内会長・自治会長 | <input type="checkbox"/> 自主防災会長 | <input type="checkbox"/> 消防団員 |
| <input type="checkbox"/> 民生委員 | <input checked="" type="checkbox"/> 保健環境委員 | |
| <input checked="" type="checkbox"/> その他 (自由記述 自治会役員, 総代) | | |

2. 自助の啓発・推進

大災害が発生した際、行政などによる救助・支援の「公助」には限界があるため、住民一人ひとりが「自分や家族の命は自分で守る」という「自助」の意識を持つことが重要です。そこでお聞きします。

問5 住民に対し、避難行動に関する知識・情報※について啓発しているか教えてください。

※例 ・ ハザードマップに掲載されている災害リスク

・ 指定緊急避難場所 (緊急避難するところ) と指定避難所 (避難生活を送るところ) の違い

・ 警戒レベルや避難情報 (高齢者等避難・避難指示など) の意味 など

- | | | |
|--|---------------------------------|----------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> 啓発している | <input type="checkbox"/> 今後行う予定 | <input type="checkbox"/> 啓発していない |
|--|---------------------------------|----------------------------------|

問6 住民に対し、各家庭での災害対策の推進※について啓発しているか教えてください。

- 【※例・家庭内備蓄や非常持ち出し品の準備
・住宅の耐震化や家具の転倒防止
・感震ブレーカーの設置 など】

- 啓発している 今後行う予定 啓発していない

問7 問5または問6で「啓発している」または「今後行う予定」と答えた方にお聞きします。
どのような方法で自助の啓発を実施または実施予定であるか教えてください。

複数選択可

- 防災に関する講演会を開催 防災訓練などの機会にあわせて
 町内または学区独自のチラシやホームページを作成
 お祭り、盆踊りや運動会など他の地域行事に防災要素を入れ込む
 行政から配られたチラシを回覧
 その他（自由記述 行政からのチラシとHP公開にて連絡）

3. 共助の推進

阪神・淡路大震災では、約8割の人が地域の方々の助け合いにより救助されたといわれていますが、隣近所で助け合う「共助」を推進するためには、あらかじめの備えが大切です。
そこでお聞きします。

問8 災害が起きた時や今にも起きそうなときに、隣近所で安否を確認したり災害情報を伝達したりする方法について、地域で検討しルールを決めているか教えてください。

- ルールを決めている 検討しているが、ルールは決めていない
 検討していない

問9 自力での避難が困難な方が地域にいるかどうかを把握していますか。またそういった方の避難を支援する方法について検討できているか教えてください。

- 把握しているし、検討できている 把握しているが、検討できていない
 把握していないし、検討できていない

4. 災害救助地区本部の活動

災害時、災害対策委員の皆様は災害救助地区本部委員として、原則市立小学校に設置される災害救助地区本部において、学区内の安否情報や被害状況などをとりまとめ、区本部(区役所)へ伝達するなどの役割を担っていただくことになります。

そこでお聞きします。

問10 ご自身が災害救助地区本部委員であることを認識していたか教えてください。

- 認識していた 認識していなかった

問11 問10で「認識していた」と回答した方にお聞きします。

災害が発生したときにおいて、ご自身が災害救助地区本部委員として担う役割について、理解できているか教えてください。

- しっかりと理解できている なんとなく理解できている
 理解できていない

問12 問11で「しっかりと理解できている」と回答した方にお聞きします。

その理由を教えてください。

- 区役所等で研修を受けた 災害救助地区本部マニュアルを読んだ
 災害救助地区本部に関する訓練を実施した
 その他（自由記述 _____）

5. 避難所の運営

指定避難所(以下、「避難所」といいます。)は、自宅が被災して帰宅できなくなった方が一定期間、避難生活を送る場所です。

避難所の運営は、あらかじめ定めておく「避難所管理組織」を中心とした避難者自身による「自主運営」が基本ですが、災害対策委員の皆様にも避難所の管理運営を補助していただくことにより、円滑な開設・運営が可能となります。

そこでお聞きします。

問13 お住まいの学区内にある避難所(市立小中学校、コミュニティセンター等)について、ご自身がその避難所の「避難所管理組織」のメンバーになっているか教えてください。

- なっている なっていない
 わからない

問14 避難所を開設するために必要な情報や手順※について知っているか教えてください。

※例 ・ 施設の中で避難者が過ごす場所はどこか
・ 避難者の受付はどうやって行うのか
・ 避難所の感染症対策のポイントは何か など

- すべて知っている 一部知っている
 知らない

問15 避難所の開設・運営に必要な資機材(発電機、特設公衆電話、地下式給水栓、仮設トイレなど)が保管・設置されている場所を把握し、定期的に使用方法を確認しているか教えてください。

- 場所の把握及び使用方法の確認をしている 場所の把握のみしている
 使用方法の確認のみしている どちらもしていない

6. 今後の防災活動について

地域の防災力を高めるためには、災害対応に必要な知識を身につけるとともに、地域の住民同士で区役所や消防署などの防災関係機関も交えながら防災について話し合いを行い、災害時にスムーズに活動できるように訓練を積むことが必要です。

今後、災害対策委員として積極的に取り組みたい防災活動を教えてください。

問16 受講または開催したい研修や講演会 複数選択可

- 災害対策委員を対象とした研修・講習会
- 災害救助地区本部委員を対象とした研修・講習会
- 避難所開設メンバーを対象とした研修・講習会
- 住民を対象とした講演会
- その他（自由記述 ）

問17 住民同士や、区役所・消防署と行う話し合いで取り上げたいテーマ 複数選択可

- 地震・津波に係る避難行動の検討・ルール作り
- 風水害に係る避難行動の検討・ルール作り
- 要配慮者の避難支援の検討・ルール作り
- 安否確認の検討・ルール作り
- 発災時の役割分担 過去の災害を知る
- 地域住民へのアンケート 指定避難所等の確保
- 在宅避難のための準備 地域の総合的な防災計画の策定
- 他学区や他町内との連携
- その他（自由記述 ）

問18 参加または開催したい訓練などの活動 複数選択可

- 避難行動訓練 要配慮者の避難支援訓練
- 安否確認訓練 災害救助地区本部開設・運営訓練
- 避難所開設・運営訓練 避難所での宿泊型訓練
- 他学区や他町内と連携した訓練 コロナ対策を踏まえた訓練
- お祭りなど他の地域行事に防災要素を入れ込む
- その他（自由記述 ）

7. 活動に関する障害や必要な支援

問19 現在、災害対策委員として地域防災活動を行うにあたり、困っていることはありますか。 最も大きな困りごとを1つ教えてください

- 何をしたら良いのかわからない 時間的余裕がない
- 防災に関する知識や情報がない 人手が足りない
- 予算が足りない 困りごとはない
- その他（自由記述 ）

問20 災害対策委員として活動するにあたり、どのような支援があると良いですか。

上位3つまでお答えください

- 支援は必要ない
- 災害対策委員の役割について、研修を実施したり手引きを配布したりしてほしい
- 防災に関して、学区や町内で話し合いをする機会を増やせると良い
- 住民に対してわかりやすく防災の話をしてくれる人がいると良い
- 住民の防災意識を高めるためのチラシやリーフレットがあると良い
- 地域で使う防災用品を買うための予算がほしい
- 防災訓練の準備やチラシの作成など、活動を手伝ってくれる人がほしい
- 訓練などの地域の防災活動へ、様々な世代や立場の人に参加してほしい
- その他（自由記述

8. 最後に

問21 災害対策委員の業務や地域防災活動の実施等についてご意見等ございましたら、ご自由にご記入ください。

アンケート項目は以上です。お忙しい中、ご協力ありがとうございました。